

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度			
施設名	鉾立ビジターセンター	設置年	昭和 60 年	
所在地	にかほ市象潟町小滝字鉾立地内			
指定管理者	にかほ市			
県所管課	自然保護	課	調整・自然環境	チーム

1 施設の概要

設置目的	自然公園の利用の増進を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与することを目的に設置したもので、鳥海国定公園の鳥海ブルーライン五合目(鉾立)に位置し、鳥海山の概要、なりたち、地質、動植物などを映像やパネルで展示している。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 生物の多様性の確保と自然公園等の適正な管理					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの					
	自然環境学習拠点施設等の利用者数の増加					
施設の面積	建築面積388.80㎡、延床面積377.73㎡					
主な設置施設	展示施設					
指定管理業務の内容	料金制	有（利用料金併用制 ・ 完全利用料金制） ☒ 無（指定管理料制）				
	料金設定					
	サウンディング実施対象施設※	×				
	指定期間	令和3年4月1日		～	令和8年3月31日	
	営業期間・時間	4月28日～10月31日・営業時間は原則常時業務				
	鉾立ビジターセンターに関する次の業務 ①施設および設備の維持管理に関する業務 ②その他、山荘の管理に関し知事が必要と認める業務					
自主事業の内容	鳥海山に関連した写真展を開催					
直近3年の年間利用者数	R4	16,774 人		R5	17,687 人	
直近3年の年間利用収入	R4	千円		R5	千円	
直近5年の収支決算(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6
収入 計		0	0	0	0	0
利用料金収入						
指定管理料						
その他収入						
支出 計		0	0	0	0	0
人件費						
光熱水費						
修繕費						
外部委託費						
その他経費						
差 引		0	0	0	0	0

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点Ⅰ> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定（毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標）

令和6年度 の目標	利用者数17,000人
--------------	-------------

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	実績	15,925	達成率	94.0%	
	具体的な 取組と その効果	令和6年度は道の駅象潟エリアにアウトドア拠点施設がオープンした関係で、それに関するチラシやパンフレット、イベントの告知などを常にしていたが、結果的には目標より下回る結果となってしまった。要因としては、7月の大雨災害の関係で鉾立を訪れる人が減ったことが考えられる。			
直近3年 の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標	7,000	12,000	17,000	
	実績	3,893	16,774	17,687	
	達成率	55.6%	139.8%	104.0%	
令和7年度 の目標 (設定根拠)	目標				
	設定根拠				

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点Ⅰ>の評価

評価 欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	B	パンフレットの掲示や、イベントの告知は例年より充実していたため、大雨災害がなければ目標人数を越えることはできていたと推測する。
	県 (所管課)	B	天候不順による目標の未達であり、立地的にやむを得ないもの。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。
A: 目標達成（数値目標の場合は100%以上）
B: A及びC以外
C: 目標達成に向けて改善が必要（数値目標の場合は80%未満）

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	97.0%		
	具体的な 取組と その効果	アンケート調査の結果を分析し、可能な限り要望に対して対応することができていたと考える。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	R4年度	R5年度	
	90.8%	95.4%	96.0%	

＜観点Ⅱ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	今後も利用者の満足度向上のためアンケート調査を行い、よりよい施設にしていきたい。
	県 (所管課)	A	引き続き高い満足度を維持している。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	電気の使用などを必要最低限にとどめ節電に徹した。
	具体的な 取組と その効果	電気の使用などを必要最低限にとどめ節電に徹し、利用者が例年よりも少なかったため、経費の低減が見受けられた。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	—
	具体的な 取組と その効果	—

＜観点Ⅲ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	電気の使用などを必要最低限にとどめ節電に徹し、利用者が例年よりも少なかったため、経費の低減が見受けられた。
	県 (所管課)	A	経費の低減に努めて管理運営されている。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	○衛生管理 日々のカーペットクリーニングにより、施設内で気持ちよく過ごしてもらうことができた。 ○安全対策 施設の点検を定期的に行うとともに必要に応じて修繕を行い、施設の安全を保つことができている。 ○危機管理体制 緊急時の連絡網を作成し、こまめな情報共有を行っている。
--------------	--

＜観点Ⅳ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	清潔感の保持や危機管理を徹底し、ビジターセンターの役割を果たすことができている。
	県 (所管課)	A	適正な管理運営に努めている。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)
県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

鳥海山の自然や文化などの情報を展示・解説・発信する施設として、自然公園利用の増進と環境保全の意欲の増進、環境教育・環境学習の推進等に寄与している。

○施設運営の課題

施設の老朽化

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

引き続き必要な修繕等を実施しながら管理運営する。施設の老朽化が進んでいるため、将来的な大規模修繕を含めた施設のあり方について検討する必要がある。